## 富ケ丘・日吉台地区 第1回レベルアップ講座まとめ

## ◆これまでの活動の成果

### 【富ケ丘・日吉台地区①】

(読み聞かせ)

- ・読み聞かせサポーターは小さな文化の継承につながる
- ・読み聞かせボランティアはとても盛り上がって楽しかった。子どももハッピー!!
- ・読み聞かせは自分のためにもなる良い時間
- ・読み聞かせでいろいろな本に出合えた

### (交流)

- ・地域や保護者の方々から貴重なアイディア(体験談)が得られた
- ・地域の人を知って紹介したいという発想が沸いた
- ・地域で「こんな特技があるの!」とその人を知るきっかけになった
- ・地域で会うと声を掛けてくれる子どもが増えた
- ・学校でよく会うねと声を掛けてくれた
- ・小学生で知り合って中学生になっても覚えていてくれて嬉しかった
- ・学校の先生と活動することで気軽に学校に行けるようになった
- ・水泳ボランティアの方が大変だった
- ・地域内の校外学習で大人の目がたくさんあってとても助かる
- ・昔あそびのメンコ、ベーゴマのおじいちゃん大活躍だった
- ・中学生が雪かきを手伝ってくれて嬉しかった→学校へ報告した
- ・横のつながりが人生を豊かにする(各種サポーター)
- ・現状を知ることで活動に生かせる(活動サポーター)

### 【富ケ丘・日吉台地区②】

(読み聞かせ)

- ・読み聞かせでいろいろなジャンルの本に触れることができた
- ・本に興味を持ってもらえた

### (交流)

- ・子どもたちと一緒にやることが楽しい
- ・子どもの笑顔がみられる
- ・顔見知りの人が増えた
- ・子どもたちに目が向くようになった
- ・地域の人たちとの関わりが増えた
- ・地域の方の作品を見ることで学校では学べない見ることができないことを知ることがで

#### きた

- ・丘小サポーターたちの心の温かさを感じられている
- ・顔を覚えてくれる→挨拶に繋がる
- ・地域の方と知り合いになれる→あいさつ運動
- ・「すごい」「上手」と素直に反応できて感謝できるようになった
- ·「やりたい」事が→「できる」になる
- ・挑戦してみようと思える
- ・自分の役立ち感が感じられる
- ・プロの方の仕事について知ること教えてもらうことで将来について考えるきっかけになった

### (学校)

- ・学校の問題が見えるようになった
- ・学校と先生のことを知ることができる
- ・学校が身近な存在になった
- ・小学校に隣接する「ゆめの森」の整備活動を 5 年生と行うことで子どもたちが自然環境を 考え体験できる活動ができた

#### (その他)

- ・公園ピカピカ大作戦で町内会5カ所の公園の場所がわかった
- ・草木を使った遊び(草笛、Y字技パチンコ)で楽しめた
- ・9つの支援事業の達成感を感じられる
- ・クラブ活動でわからないことやできないことを丁寧に教えてもらえた
- ・あいさつ運動、昔あそび、防災訓練サポート、体力づくり測定、小さな美術館サポート、 野菜作り
- ・海岸清掃活動でマイクロプラスチックを数多く拾い集め環境問題を考えるきっかけになった

### 【富ケ丘・日吉台地区③】

- ・サポートをすることで子どもたちの笑顔が見られた
- ・子どもたちとの会話が増えた
- ・○○さんのお母さんと認識してくれた
- ボランティアが増えた

### ◆これまでの活動の問題点・課題◆

### 【富ケ丘・日吉台地区①】

・コロナ期間で活動が減りボランティアも減ってしまった

- ・地域の子どもたちの見守り、安全の為の抑止力になっている(安全サポーター)
- ・サポーターが所属外の学校のサポートもできればさらなる交流発展になるのではないか (富ケ丘と日吉台)
- ・家庭での意識の違いに困惑。責任を担うことが怖いという風潮がある
- ・公民館の音楽会で歌うことを求められて、子どもも大人も困惑し現場はパニックになった

#### 【富ケ丘・日吉台地区②】

(テーマ)

- ・テーマと合致しないことが多い
- ・テーマと活動とを結びつけることに意味があるのか
- ・学校の教育目標とテーマとのすり合わせが必要
- ・生活する環境というテーマを具体的にしていくこと (学校)
- ・学校の目標との整合性は?
- ・学校でどこまでできるのか、どこまで求められるのか
- ・学校で教えられているところがどこまでかを把握していく必要がある (その他)
- ・地域としての目標を考える
- ・具体的な目標を立てるべき
- ・~環境~広い意味でとらえる
- ・支援や関わる人が固定化してしまう
- ・自然体験、屋外活動が苦手な子どもたちへのアプローチの仕方をどうするか

# 【富ケ丘・日吉台地区③】

(学校)

- ・小中学校側が必要としていることがわからないのでもっと話し合いたい
- ・学校側が抱えている問題を地域へ発信し、共に解決に向けて考えたい
- ・小・中のボランティアの意欲を高める必要がある。モチベーションが下がりすぎている (テーマ)
- ・テーマの意味、由来が知りたい
- ・テーマをあまり知らない
- テーマを変えるべき
- ・サブタイトルをつけるべき
- ・活動内容がテーマを意識したものではなかった。テーマを変更するべき (その他)
- ・いつも同じボランティアなので別な内容のお手伝いがしたい

- ・まだ始めたばかりだが今後の見通しはワクワクだ!子どもたちに顔を覚えてもらうこと から始めたい
- ・環境とは何を表すのか